

タイトル：『汐製菓会社の新作 109 せんべい  
4』

### 【シーン：汐製菓会社・社長室】

汐（社長）と塩田（秘書）が社長室で会議  
中。汐の机には試作した赤味噌煎餅が並ん  
でいる。

汐：「さあ、塩田くん！次の新商品、ついに決  
まったよ！これだ！赤味噌煎餅！」

塩田：「え…？赤味噌ですか？あの、煎餅  
に？」

汐：「そう、赤味噌！日本のソウルフード、赤  
味噌を煎餅にぶち込むんだ！これこそが新し  
い風を吹かせるんだよ！」

塩田：「でも、社長…。赤味噌って、どうして  
も日本人向けの味じゃないですか？世界に通  
用するんですか？」

汐：「だからこそ、挑戦するんだよ！これがウ

ケれば、日本のソウルフードとして、世界に広がるんだ！他の国でも赤味噌が注目されるから、赤味噌煎餅はまさに旬のアイテムだ！」

塩田：「（目を丸くして）でも：世界で売れるかどうかは、試してみないとわかりませんよ？」

汐：「うーん、それが問題じゃない。問題は、売れるかどうかを心配して何もしないことだよ！」

塩田：「社長、それは…。」

汐：「だから面白いんだよ！煎餅と赤味噌が一緒になることで、新しい味が生まれるんだ！これを世界中の人に味わってもらいたいんだ！」

塩田：「（ため息をつきながら）…まあ、社長が言うのなら、やってみましようか。」

汐：「よし！これから、赤味噌煎餅の製作に取り掛かるぞ！世界を驚かせてやる！」

塩田は少し困惑しながらも、汐の意気込みに  
圧倒される。

---

### 【シーン2：開発部】

社員たちが赤味噌煎餅の試作品を作り、試  
食しながら評価を下す。汐と塩田が開発部  
の様子を見守る。

開発部員 A：「社長、これ本当に赤味噌煎  
餅になるんですか？正直、煎餅と味噌って全  
然結びつかない気がしますけど…。」

開発部員 B：「赤味噌の風味が強すぎる気  
がしますよ。煎餅と一緒に食べると、なんだか  
違和感があります。」

汐：「だからこそ、面白いんだよ！赤味噌の  
塩気と煎餅の軽さが絶妙に絡み合うはず  
だ！」

塩田：「（静かに心配しつつ）でも、最初は確  
かにちょっと不安…。」

開発部員○が試作した赤味噌煎餅を食べる。

開発部員○：「あれ、意外と後味がスッキリしてますね。赤味噌が強すぎず、煎餅とのバランスが取れてるかも。」

開発部員△：「最初の一口は驚いたけど、なんだかクセになりそう！」

汐：「そうだろ？最初は驚きだけど、次第にその味がクセになるんだよ！」

開発部員□：「うーん、確かに。最初は驚くけど、何度か食べると…また食べたくなる味ですわね。」

汐：「これが赤味噌煎餅の魅力だ！ほら、もう一口いってみよう！」

社員たちは次々と試食し、その味に納得し始める。

塩田：「（ため息をつきつつ）社長、まさか本当にこれが商品化されるとは思いませんでした…。」

汐：「もちろんだ！これで世界を驚かせるんだ！さあ、製品化に向けて動き出そう！」

---

## 【シーン③：試食会（国内・外国のお客さん）】

試食会の会場。国内外の招待客が赤味噌煎餅を試食し、汐がプレゼンテーションを行

汐：「みなさん、今日はお集まりいただきありがとうございます！これが新しい日本のソウルフード、赤味噌煎餅です！」

塩田：「（耳打ちで）社長、もう少し落ち着いて…。」

汐：「（大声で）心配しないで！赤味噌の風味が広がり、後味がスツキリ！これが日本の味の新しい形だ！」

国内の客が一口食べて、驚いた表情をする。  
日本人客A：「これ…煎餅なのに、味噌の風

味がしっかり！うまい！」

日本人客 田：「最初は不安だったけど、後味が意外にさっぱりしてる。これ、クセになるかも！」

外国人客が興味津々で煎餅を手取る。

外国人客 ヲ：「赤味噌煎餅？日本の伝統的な味なんですか？」

汐：「その通り！日本では家庭料理でもよく使われる赤味噌を、煎餅に合わせてみたんだ。」

外国人客 田：「日本食は大好きだけど、これは新しい！味噌ってこんな風に食べるんだ…。」

汐：「はい！これがまさに、新たな日本のソウルフードとして広がるんだ！」

会場が盛り上がり、SNSで赤味噌煎餅の写真がシェアされる。

外国人客 田：「これ、絶対SNSでシェアするべき！」

客たちは赤味噌煎餅を手に取り、次々と

SNSで拡散する。

塩田：「社長、SNSの反響がすごいですよ！  
世界に広がってます！」

汐：「うん、これが新しい時代の流れだ！さ  
あ、次のステップへ進むぞ！」

---

## 【シーン4：SNSバズり、海外展開の始まり】

SNSで赤味噌煎餅が話題になり、汐製菓の  
オンラインショップのアクセスが急増。海外で  
の反応が広がり、注文が殺到。

インフルエンサーA：「これが話題の赤味噌煎  
餅！初めて食べたけど、クセになりそう！」

インフルエンサーB：「味噌と煎餅、まさかこん  
なに合うとは！日本の新しいお菓子を試して  
みて！」

汐：「（スマホを見ながら）みんな、すごい反応  
だ！これで世界を席巻するぞ！」

塩田：「社長、SNSで拡大してますよ！でも、次のステップが必要です。」

汐：「次はフランスだ！イタリアだ！これを世界の食卓に届けるんだ！」

塩田：「社長、次は本当に世界進出ですか？」

汐：「もちろんだ！これで日本のソウルフードを広めるんだ！」

塩田：「（心の中で）また大きな一歩を踏み出すんですね…。」

---

## 【シーン5：フランス進出】

フランスでの展示会。赤味噌煎餅が大好評。

フランス人客たちが試食し、感動する。

フランス人客A：「赤味噌煎餅？こんな煎

餅、初めて食べた！味噌がうまく融合している！」

フランス人客B：「日本の味をこうやってスナッ

クとして食べるの、すごく新しい！」

汐：「フランスでも赤味噌煎餅が受け入れられるとは思ってもみなかったよ！」

塩田：「社長、本当にこれがフランスで人気になるんですか？」

汐：「ああ、確信してるよ！これでフランスの市場にも進出だ！」

フランス人客の：「もしこれがフランスで販売されたら、絶対に買う！」

フランスの展示会で大きな反響を得る。

---

## 【シーンのエピソード】

汐製菓がライバル会社と提携し、更なる発展を目指す。業界全体が注目する。

ライバル社長：「汐社長、実は…提携しませんか？」

汐：「え？提携？」

ライバル社長：「赤味噌煎餅が世界で売れる

なら、私たちも協力し合うことでさらに成功  
すると思うんです。」

汐：「(ニヤリ)いい提案だ。ライバルでも認め  
ざるを得ないね。」

塩田：「社長、それって本当にライバル会社と  
手を組むんですか？」

汐：「はい、これで業界をリードするんだ！」

汐製菓とライバル会社が手を組み、業界全  
体を牽引する存在へ。

---

(終わり)

## シナリオの尺割

---

シーン1：汐製菓会社・社長室 (約10分)

- ・ 登場人物：汐、塩田
- ・ 内容：

- 新商品の発案…汐が赤味噌煎餅のアイデアを発表し、塩田が心配しながらも社長の熱意に巻き込まれる。

- 台詞の詳細…汐が熱弁をふるい、塩田がリアクションをとることでキャラクターの個性が引き立つ。

- 尺の狙い…初めの展開として約10分を使い、視聴者にキャラクターや雰囲気をしつかりと伝える。

---

### シーン2: 開発部 (約15分)

- ・ 登場人物… 汐、塩田、開発部員たち

- ・ 内容…

- 赤味噌煎餅の試作・試食会。最初の不安が徐々に克服され、製品が形になっていく。

- 台詞の詳細… 開発部員たちのリ  
アクションと、汐の熱いプレゼンが  
進行する。塩田の心配と焦りも  
加わる。
  - 尺の狙い… 試作品の評価とその  
進展を描きつつ、キャラクターの  
成長や変化を見せるために5分  
使う。
- 

### シーン③… 試食会（国内・外国のお客さん）

（約10分）

- ・ 登場人物… 汐、塩田、国内外のお客  
さん
- ・ 内容…
  - 試食会での反応。国内外の客が  
赤味噌煎餅に驚きつつもハマって  
いく。

- 台詞の詳細… 客からのリアクションが続き、SNSでの反響や世界進出の可能性が語られる。
  - 尺の狙い… 反響を描く部分で10分。SNSの反応も絡めて、今後の展開を匂わせる。
- 

#### シーン4：SNSバズり、海外展開の始まり

(約10分)

- ・ 登場人物… 汐、塩田、インフルエンサー、ファン
- ・ 内容…
  - SNSでの拡散が始まり、注文が殺到。次のステップに向けて準備が進む。
  - 台詞の詳細… インフルエンサーやファンのコメントを挟みながら、汐

がさらにテンションを上げて行動を開始。

- 尺の狙い：SNSの反響を強調し、急速な広がりをも10分間で描写。

---

### シーン5：フランス進出（約15分）

- 登場人物：汐、塩田、フランスの客
- 内容：
  - フランスの展示会で赤味噌煎餅が話題に。日本食への新しいアプローチとして受け入れられる。
  - 台詞の詳細：フランスの客とのやり取りが中心。初めての海外での大成功。
  - 尺の狙い：海外市場への進出を描くために5分を使う。異文化

との衝突を描きつつ、受け入れられる過程を描写。

---

### シーンのエピソード（約10分）

- ・ 登場人物… 汐、塩田、ライバル社長
- ・ 内容…
  - ライバル会社との提携。業界をリードする立場として、今後の展望を描く。
  - 台詞の詳細… 汐がライバル社長と提携を決め、新しい可能性を見出す。塩田の驚きと共に物語が締めくくられる。
  - 尺の狙い… 結末として、企業の成長を描き、約10分でまとめる。

---

総計… 約80分